

那須の歴史再発見!

那須町の地域文化遺産

vol.11



「完成記念」碑

今回は、黒田原茶臼開拓と

黒田原中学校の「完成記念」碑を紹介いたします。

黒田原茶臼開拓は、昭和20年に御料林であった黒田原の本西田地区に旧職業軍人5名と学生5名が入植したのが始まりとされています。

この開拓に関わった人物に湯津上村出身（現大田原市）の高瀬兼介・七郎兄弟がいます。高瀬兼介は当時、國學院大学の教授で、この開拓で学生達を入植させました。また七郎は陸士48期・陸大55期の職業軍人で、終戦時は参謀本部作戦課の少佐でした。七郎

や参謀本部作戦課長であった天野正一少将がこの開拓に加わっています。また、陸士時代の同期であった三笠宮崇仁親王さまは、昭和23年に茶臼開拓地を訪れ、その時の写真が遺されています。また殿下は昭和46年に七郎の尽力で開かれた旧金丸原演習場での陸士OBの集いにも参加するなどもしています。

茶臼開拓は、七郎により命名されました。開拓資材は七郎が占領軍などに交渉を行い、伐根機や戦車（ブルドーザー）として改良）、測量や毛布などをかき集め進められました。開墾作業はトラクターを運転し抜根を行う抜根班・ノコギリや斧などを使い根を切り土を掘り起こし、パンノウを使い根と土を分離する開墾班・食事や洗濯、物資調達を行う炊事班の3班編成で行われました。しかし苦勞と物資不足もあり、掘り出した根っこは乾燥させ燃料にした

り、開墾も火山灰の土壌に苦しめられ、大豆や芋、稗、粟などしか収穫できなかったといいますが、また住宅も長屋式の家屋で、共同生活を送っていました。昭和23年には一戸建て住宅が完成するなど徐々に生活環境は改善されました。しかし、ほとんどの開拓民が離農していくこととなります。

那須中央中学校の敷地内に、昭和28年に旧黒田原中学校の完成を祝い建立された「完成記念」碑があります。そこには、茶臼開拓のメンバーの名前も刻まれています。数少ない、茶臼開拓を知る手掛かりとなる大切な石碑です。



三笠宮崇仁さまと入植者（『大地に生きる茶臼』より転載）

▼問合せ 那須歴史探訪館

☎74・7007

那須歴史探訪館

■申込み・問合せ
那須歴史探訪館 ☎74-7007

トピックス展「芦野と戦国時代」好評開催中!

芦野地区の戦国時代の様相を史料や軍記物、系図などから確認します。芦野氏や寄居地区の原の七人についても考察します。

▼会期 3月15日(日)まで

▼入館料 大人200円（中学生以下無料）

常設展示解説のお知らせ

意外と知らない那須町の歴史。那須町の旧石器時代〜近代までの歴史や文化を展示物とともにご紹介いたします。

▼日時 3月15日(日)

午後2時〜3時

▼場所 那須歴史探訪館

特別展「那須御用邸100周年記念那須と皇室のあゆみ」を開催します

今年はその那須御用邸が設置されてから100周年を迎えます。そこで、明治天皇の巡幸から那須御用邸の設置、皇室ゆかりの品々などを紹介し、那須町と皇室のあゆみを振り返ります。

▼会期 3月20日(金)〜6月21日(日)

▼入館料 大人300円（中学生以下無料）

※特別展料金となります。

講座「那須御用邸と新那須温泉」

▼日時 5月10日(日)

午後1時30分〜3時

▼場所 文化センター 小ホール

▼定員 30人

▼講師 高根沢広之氏（那須塩原市文化財保護審議会会長）

栃木県博物館市町連携事業

移動講座「那須御用邸のレッドリストの維管束植物」

▼日時 5月31日

午後2時〜3時30分

▼場所 文化センター 小ホール

▼定員 30人

▼講師 星直人氏（県立博物館学芸部自然課長）